

Ⅱ 主な事業別の状況

1. 上水道事業

(1) 施設及び業務概要

決算調査の対象となったのは、27事業（上水道事業26事業、用水供給事業1事業）である。年間総配水量は対前年度比0.5%増の135,153.23千 m^3 であり、現在給水人口は対前年度比1.1%減の1,187,983人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率で見ると96.5%計画給水人口に対する普及率で見ると89.0%となっている。また、有収率は全体で85.7%となっており、規模別にみると、給水人口15万人以上の団体（3団体）が88.9%で最も高くなっている。〔第9表〕

第9表 施設及び業務概要

(単位：人、%)

項 目	規 模 別					合 計
	15万人以上	5万人以上 15万人未満	3万人以上 5万人未満	1.5万人以上 3万人未満	1.5万人未満	
行政区域内人口 (A)	760,973	115,317	89,540	113,033	151,830	1,230,693
計画給水人口 (B)	763,847	124,129	111,060	122,071	214,024	1,335,131
現在給水人口 (C)	743,212	110,438	86,859	101,377	146,097	1,187,983
行政区域内人口に対する普及率(C) / (A)	97.7	95.8	97.0	89.7	96.2	96.5
計画給水人口に対する普及率 (C) / (B)	97.3	89.0	78.2	83.0	68.3	89.0
有 収 率	88.9	83.1	82.8	80.3	77.9	85.7

(注) 用水供給事業を除く。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は112.6%で、前年度に比べ1.6ポイント減となっており、収益費用別では総収益が1.2%減、総費用が0.1%増となっている。

単年度収支で、純損失を生じた事業は1団体であった。（前年度1事業）。

累積欠損金を生じた団体はなかった。〔第10表〕

第10表 収益的収支の状況

(単位：千円、%)

年 度 項 目		H28年度	H29年度	H30年度	R1 年 度	R2 年 度	増 減 率 (R2/R1)
		総 収 益	32,944,288	33,436,856	33,306,761	33,046,629	32,634,657
うち 営 業 収 益 (A)	29,209,752	29,363,752	29,114,228	29,044,735	28,395,266	△ 2.2	
総 費 用	28,284,209	29,361,513	28,842,236	28,946,932	28,987,259	0.1	
純 利 益	4,660,079	4,075,343	4,467,680	4,113,802	3,668,463	△ 10.8	
純 損 失 (B)	9,853	0	3,155	14,105	21,065	49.3	
累 積 欠 損 金 (C)	135,651	82,039	79,079	93,184	0	皆減	
不 良 債 務 額 (D)	0	0	0	0	0	-	
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
	(C) / (A)	0.5	0.3	0.3	0.3	0.0	
	(D) / (A)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事 業 数 (E)	27	27	27	27	27	0.0	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)	2	0	1	1	1	0.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)	1	1	1	1	0	皆減	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)	0	0	0	0	0	-	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)	7.4	0.0	3.7	3.7	3.7		
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0		
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
総 収 益 対 総 費 用 比 率	116.5	113.9	115.5	114.2	112.6		

(注) うち営業収益 (A) は受託工事収益を除く。

(3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は114億3,587万1千円で、前年度93億4,485万2千円より22.4%増、資本的支出は250億2,376万2千円で、前年度218億1,205万7千円より14.7%増となっている。〔第11表〕

第11表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R2 / R1)	
		R1 年度	R2 年度		
資本的支出	建設改良費	14,133,739	16,874,990	19.4	
	企業債償還金	7,455,939	7,420,046	△ 0.5	
	その他	222,379	728,726	227.7	
	計	21,812,057	25,023,762	14.7	
財源内訳	内部資金	12,467,205	13,587,891	9.0	
	外部資金	9,344,852	11,435,871	22.4	
	うち	企業債	5,192,300	5,704,400	9.9
		他会計出資金	1,212,131	2,677,234	120.9
		他会計負担金	60,548	82,013	35.5
		他会計借入金	0	0	-
		他会計補助金	281,253	334,365	18.9
		調整項目	0	0	-
	財源不足額	0	0	-	
	計	21,812,057	25,023,762	14.7	

(4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は311.2%と前年度（315.9%）より4.7ポイント減となっている。〔第12表〕

第12表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	営業収益に対する割合
平成28年度	277.1	0	0.0
平成29年度	284.0	0	0.0
平成30年度	317.0	0	0.0
令和元年度	315.9	0	0.0
令和2年度	311.2	0	0.0

2. 交通事業

(1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。一般乗合分の在籍車両は259両で、前年度から増減はない。輸送人員は年間11,099千人となっており、一日当たりで見ると30,409人で、前年度に比べ6,744人減となっている。〔第13表〕

第13表 経営規模

区 分		年 度				
		H 28 年 度	H 29 年 度	H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度
施 設	営 業 路 線 (km)	395.8	395.7	397.7	396.1	393.0
	運 転 系 統 路 線 (本)	260	256	271	254	252
	在 籍 車 両 (両)	259	259	259	259	259
	平 均 車 齢 (年)	11.9	12.6	11.1	10.4	9.4
業 務	年 間 走 行 キ ロ (千 km)	7,170	7,135	7,140	7,084	6,936
	一 日 走 行 キ ロ (千 km)	20	20	20	19	19
	年 間 輸 送 人 員 (千 人)	14,322	14,289	14,213	13,598	11,099
	一 日 輸 送 人 員 (人)	39,238	39,148	38,940	37,153	30,409
	年 間 運 送 収 益 (千 円)	2,968,923	3,058,832	2,867,163	2,764,539	2,433,930
	一 日 運 送 収 益 (千 円)	8,134	8,380	7,855	7,553	6,668

(注) 一般乗合分のみを記載した。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、87.8%で前年度（93.7%）に比べ5.9ポイント低くなっている。

不良債務額を有する事業数については、前年度から増減はなく、不良債務額は前年度よりも減少した。〔第14表〕

(単位：千円、%)

年 度		H 28 年 度	H 29 年 度	H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	増 減 率 (R2/R1)
		項 目					
総 収 益		3,869,934	3,979,762	3,801,317	3,724,856	3,482,425	△ 6.5
う ち 営 業 収 益 (A)		3,010,107	3,107,065	2,915,455	2,817,918	2,488,575	△ 11.7
総 費 用		3,719,159	3,797,816	3,874,100	3,976,801	3,967,780	△ 0.2
純 利 益		150,775	181,946	0	0	0	-
純 損 失 (B)		0	0	72,783	251,945	485,355	92.6
累 積 欠 損 金 (C)		2,174,543	2,038,710	2,098,428	2,233,123	2,682,400	20.1
不 良 債 務 額 (D)		154,949	0	49,200	174,658	152,755	△ 12.5
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.0	0.0	2.5	8.9	19.5	
	(C) / (A)	72.2	65.6	72.0	79.2	107.8	
	(D) / (A)	5.1	0.0	0.0	6.2	6.1	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		0	0	2	2	2	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 する 事 業 数 (G)		1	1	1	1	2	100.0
不 良 債 務 を 有 する 事 業 数 (H)		1	0	1	1	1	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
累 積 欠 損 金 を 有 する 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	
不 良 債 務 を 有 する 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		104.1	104.8	98.1	93.7	87.8	

(3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は9億1,473万5千円で前年度8億166万5千円より1億1,307万円（14.1%）増加し、資本的支出については10億595万6千円と前年度8億9,798万2千円より1億797万4千円（12.0%）増となっている。〔第15表〕

第15表 資本的収支の状況

（単位：千円、%）

項目	区分 年度	金額		増減率 (R2/R1)	
		R 1 年 度	R 2 年 度		
資本的支出	建設改良費	509,300	600,999	18.0	
	企業債償還金	387,643	403,961	4.2	
	その他	1,039	996	△ 4.1	
	計	897,982	1,005,956	12.0	
財源内訳	内部資金	129,068	91,484	△ 29.1	
	外部資金	801,665	914,735	14.1	
	うち	建設改良のための企業債	361,800	481,700	33.1
		他会計補助金	324,766	361,642	11.4
		他会計借入金			
	財源不足額				
	計	930,733	1,006,219	8.1	

(4) 資金繰りの状況

平成27年度から一時借入金はない。

また、流動比率（流動資産／流動負債）は76.1%で、前年度85.6%より9.5ポイント低くなっている。〔第16表〕

第16表 資金繰りの状況

（単位：千円、%）

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
平成28年度		92.4	0	0.0
平成29年度		112.2	0	0.0
平成30年度		109.8	0	0.0
令和元年度		85.6	0	0.0
令和2年度		76.1	0	0.0

3. 病院事業

(1) 施設及び業務概要

令和2年度の病院数は23病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が7病院、町が経営する病院が8病院、一部事務組合等が経営する病院が8病院となっている。〔第17表〕

23病院全体での病床数は4,344床(一般病床3,778床、療養病床350床、結核病床0床、精神病床198床、感染症病床18床)であり、病床利用率は65.5%で前年度を6.0ポイント下回っている。

病床利用率を規模別に比較すると、500床以上の病院では70%以上となっているが、それ以外では70%未満となっている。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数104万2千人、外来延べ患者数182万5千人、合計で286万7千人となっている。〔第18・19表〕

第17表 施設及び概要

病院規模	区分 自治体病院数	経営主体		
		市	町	一部事務組合等
500床以上	1	1		
300床以上500床未満	4	2		2
200床以上300床未満	3	3		
100床以上200床未満	5		1	4
100床未満	10	1	7	2
計	23	7	8	8

第18表 患者数・病院数の推移

項目	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
入院延患者数(千人)		1,234	1,213	1,188	1,154	1,042
外来延患者数(千人)		2,140	2,078	2,030	1,994	1,825
病床数(床)		4,738	4,692	4,410	4,380	4,344
病床利用率(%)		71.5	70.8	71.7	71.5	65.5
外来・入院比率(%)		173.4	171.4	171.0	172.8	175.1

第19表 病床の利用率

(単位: %)

年度	規模	500床以上	300床以上 500床未満	200床以上 300床未満	100床以上 200床未満	100床未満	計
平成28年度		75.7	75.7	69.7	62.9	72.7	71.5
平成29年度		72.9	78.1	65.3	62.3	73.9	70.8
平成30年度		86.8	72.6	62.3	71.4	65.4	71.7
令和元年度		85.7	72.8	59.0	68.3	73.0	71.5
令和2年度		77.1	64.9	54.0	66.5	68.0	65.5

(2) 収益的収支の状況

単年度収支では23施設中12施設で27億4,523万3千円の純利益を生じたが、11施設が合わせて5億1,199万5千円の純損失を生じ、累積欠損金は508億6,010万円で、前年度523億676万3千円から14億4,666万3千円(△2.8%)の減となっている。

不良債務額は24億7,139万9千円で、前年度41億7,452万5千円から17億312万6千円(△40.8%)の減となっている。

[第20表]

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (R2/R1)
		H28 年 度	H29 年 度	H30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	
項 目							
総 収 益		94,234,134	93,981,728	94,735,038	95,346,576	100,144,561	5.0
うち 医 業 収 益 (A)		79,554,151	79,918,207	79,822,096	79,570,579	76,403,876	△ 4.0
総 費 用		94,637,974	94,975,231	94,391,614	95,594,609	97,911,323	2.4
純 利 益		2,636,716	2,006,145	2,401,101	1,700,850	2,745,233	61.4
純 損 失 (B)		3,040,556	2,999,648	2,057,677	1,948,883	511,995	△ 73.7
累 積 欠 損 金 (C)		51,939,062	52,359,666	51,994,147	52,306,763	50,860,100	△ 2.8
不 良 債 務 額 (D)		2,290,506	3,273,058	3,837,953	4,174,525	2,471,399	△ 40.8
赤字額 等の医 業収益 に対する割合	(B) / (A)	3.8	3.8	2.6	2.4	0.7	
	(C) / (A)	65.3	65.5	65.1	65.7	66.6	
	(D) / (A)	2.9	4.1	4.8	5.2	3.2	
施 設 数 (E)		24	23	23	23	23	0.0
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)		14	14	17	13	11	△ 15.4
累 積 欠 損 金 を 有 する 施 設 数 (G)		17	16	17	16	16	0.0
不 良 債 務 を 有 する 施 設 数 (H)		10	9	11	10	9	△ 10.0
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 の 割 合 (F) / (E)		58.3	60.9	73.9	56.5	47.8	
累 積 欠 損 金 を 有 する 施 設 数 の 割 合 (G) / (E)		75.0	70.8	69.6	69.6	69.6	
不 良 債 務 を 有 する 施 設 数 の 割 合 (H) / (E)		33.3	41.7	39.1	43.5	39.1	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		102.0	99.6	99.0	99.7	102.3	

(3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は116億6,015万4千円（前年度117億9,908万7千円）で、対前年度比1.2%の減、資本的支出も148億5,043万4千円（前年度150億8,059万7千円）で、対前年度比1.5%の減となっている。財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より4.1%の増、外部資金は企業債が16.1%の減、他会計出資金等の一般会計繰入金は6.1%の減となっている。〔第21表〕

第21表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R2 / R1)	
		R 1 年 度	R 2 年 度		
資本的支出	建設改良費	8,163,310	7,656,811	△ 6.2	
	企業債償還金	6,838,103	7,099,480	3.8	
	その他	79,184	94,143	18.9	
	計	15,080,597	14,850,434	△ 1.5	
財源内訳	内部資金	3,203,017	3,333,759	4.1	
	外部資金	11,799,087	11,660,154	△ 1.2	
	うち	企業債	6,702,500	5,622,400	△ 16.1
		他会計出資金	1,956,896	1,757,894	△ 10.2
		他会計負担金	2,648,702	2,575,663	△ 2.8
		他会計借入金			
		他会計補助金	54,750	40,400	△ 26.2
	調整項目				
	財源不足額	78,493		△ 100.0	
	計	15,080,597	14,993,913	△ 0.6	

(4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は135.2%と前年度（123.7%）より11.5ポイント高くなっている。〔第22表〕

第22表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	医業収益に対する割合
平成28年度	124.7	10,450,625	13.1
平成29年度	122.4	10,367,827	13.0
平成30年度	123.6	10,109,164	12.7
令和元年度	123.7	9,908,416	12.5
令和2年度	135.2	9,654,000	12.6